

舗装技術をPR

大成ロテック、越交通
運輸大学とセミナー

大成ロテックはベトナム交通運輸大学との共催で舗装技術に関するセミナーをベトナム・ハノイ市で11月27日に開いた。写真。同国での舗装の維持管理の現状や、舗装技術の開発動向などを解説。ベトナム交通運輸省、ベトナム道路総局、ベトナム日本大使館の来賓など約60人が参加した。

冒頭、西田義則社長は「今回のセミナーで紹介する技術をベトナムで広く普



及させることで、舗装の維持管理に貢献していききたい。現在取り組んでいるアフアルトプラントによる舗装再生技術の事業化も加速させ、社会基盤整備と環境保全の両面からベトナム

に貢献していく」と述べた。

セミナーでは、ベトナム道路総局のレ・ホン・ディエップ維持管理局長が舗装に関する基調講演を行った後、大成ロテックが道路の乗り心地を測定する装置「STAMPER II」を使った研究の報告、日本の舗装維持修繕技術の紹介などを行った。

デモンストレーションでは車両に取り付けた「STAMPER II」、舗装構造診断に使用する機材「小型FWD」、高耐久型常温合材「TRミックスアクリア」をPRした。